

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	詳細点検
事務事業名	大規模災害に対する防災対策事業の推進(消防協力事業所)	シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	消防局 局 警防部 部 警防課 課	評価責任者(課長名)	阪下

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け	
			施策	7	地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進	有	
	2	事業開始年度	平成 20 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	消防協力事業所登録制度要綱				
	4	関連計画					
5	事業実施の経緯	阪神・淡路大震災や尼崎福知山線脱線事故等の大規模特殊災害発生時に被害を軽減するために、危機管理体制や消防力の強化とともに地域住民による「共助」や周辺事業所の組織力を生かした救出・支援活動が重要になる。地震発生時には消防局の活動は火災対応優先となり、救助事案等の対応が後手に回ることもあるため、大規模災害発生時の応急期に管内事業所が組織力を活かし活動できる体制を構築し地域防災力の強化を図るため制度を設立した。					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (消防局) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	大規模特殊災害発生時において消防機関の行う消防活動に協力する意思を持つ事業所。			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	大規模特殊災害時において、「共助」に取り組む事業所を増加するとともに、登録事業所に対し、実活動を安全に行って頂くための研修・訓練を行う。			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	管内事業所に対して様々な機会をとらえ、制度の趣旨説明を行い、登録を推進する。また、登録事業所個々の知識及び技術を強化するための研修・訓練を実施する。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他()				

Ⅲ. 投入量

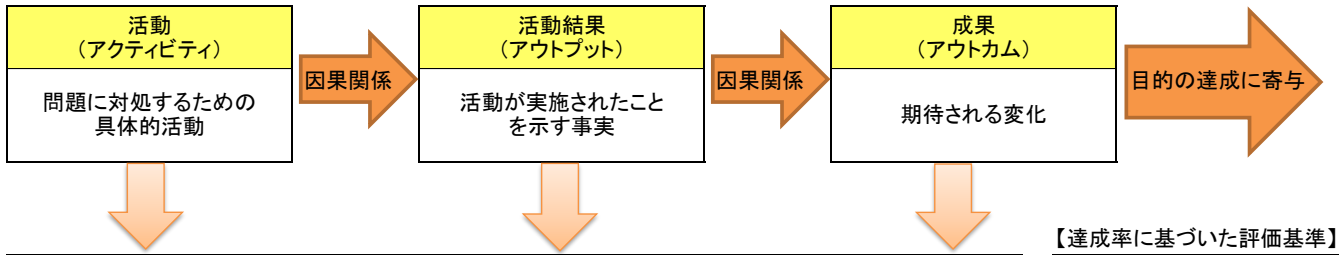
	項 目	単 位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	事業費 (a)	千円	0	248	376	1,000	
	主な事業費内訳	消防協力事業所表示マーク・腕章	千円		248	376	1,000
			千円				
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
		一般財源	千円		248	376	1,000
12	人件費 (b)	千円	1,640	1,640	1,640	3,240	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	1,640	1,888	2,016	4,240	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	大規模災害に対する防災対策事業の推進(消防協力事業所)	シート番号	90-15
-------	-----------------------------	-------	-------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>近年の新規登録事業所の増加に伴い、事業所ごとの防災意識の差異が問題となっており、各登録事業所の防災力を高めるための研修会及び訓練を実施した。計261事業所293名が参加し、地域防災力の向上につながったと考える。また、研修等の効果として、3件の奏功事例があり、各管轄署において感謝状を贈呈いたしました。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		消防協力事業所への教育訓練の実施	事業所	目標値	3	3	4	3
				実績値	4	4	5	
				達成率	133%	133%	125%	
	評価	大変良い	大変良い	大変良い				
	算出方法・設定根拠など		研修会実施回数					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		消防協力事業所の登録数(最終目標)	事業所	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000
				実績値	1,062	1,122	1,205	
				達成率	53%	56%	60%	
	評価	悪い	悪い	少し悪い				
	算出方法・設定根拠など		登録事業所総数					

業績の分析

17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>近年の新規登録事業所の増加に伴い、事業所ごとの防災意識の差異が問題となっており、各登録事業所の防災力を高めるための研修会及び訓練を実施した。一方で、各事業所の防災に関する基礎知識に差があることから研修内容や訓練内容を検討し、知識と技術の底上げを図ることが必要である。</p>
----	---

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。